

「日本インターベンショナルラジオロジー学会における症例登録事業」について

加古川中央市民病院放射線科は、日本インターベンショナルラジオロジー学会(以下IVR学会)との共同し、血栓塞栓術、血管拡張術等おこなった患者さんを対象に情報登録を行い各疾患の診断治療に役立てる取組みをしております。内容については下記の通りとなっております。

尚、この研究についてご質問などございましたら、最後に記載しております【問い合わせ窓口】まで連絡ください。

【事業概要及び利用目的】

インターベンショナルラジオロジー(以下IVR)は低侵襲の治療として標準治療として定着しつつあります。特に、患者さんの日常生活の維持、入院期間の短縮などに寄与していると考えられていますが、その実態把握は十分ではありません。今回、「IVR症例Web登録」された情報を集計・登録することにより今後のIVR診療現状把握をし、IVR専門医の育成、修練施設の増加など今後のIVR診療の進捗・普及を図ることを目的としております。

【登録期間】

調査期間：2013年7月1日～

【取り扱うデータおよび試料・情報の項目】

開始日時、性別、年齢、部位、血管/非血管、術式、疾患名、術者、指導監督医、協力医師数・看護師数・技師数、IVR室占有時間、手技時間、使用機材、その他機器、合併症の有無等

【個人情報保護の方法】

施設内IDから暗黙的ハッシュ関数を用いて連結不可能匿名化した管理IDを生成し、データベースに登録します。対応表などの連結を可能とする情報は保持しません。サーバーとの通信はSSL(Secure Sockets Layer)を用いて保護しています。

【データおよび試料提供による利益・不利益】

利益：データをご提供いただいた患者さんの個人には特に利益になるようなことはございません。

不利益：カルテからのデータのみ利用するため特にありません。

【登録終了後のデータおよび試薬の取り扱いについて】

患者さんの個人情報は匿名化され、個人が特定できない情報をIVR学会で保管します。

【研究へのデータ使用の取りやめについて】

いつでも可能です。患者さんのデータを用いられたくない場合には、下記【問い合わせ窓口】までご連絡ください。取りやめの希望を受けた場合、それ以降、患者さんのデータは本研究に用いることはありません。しかしながら同意を取り消した時、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合のように廃棄できない場合もあります。

【問い合わせ窓口】

この研究の問い合わせだけでなく、患者さんのデータが本研究に用いられているかどうかお知りになりたい場合や、患者さんのデータの使用を望まれない場合など、この研究プロジェクトに関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせください。

加古川中央市民病院 放射線科
坂本 憲昭
連絡先：079-451-5500